

【翻刻】明治七年（一八七四）改正 小学読本 卷之二 《抜粹》 「八潮市立資料館寄託 大瀬高橋義一家文書二〇七七」

※変体がなは、ひらがなに改め、元となった漢字を【】で示した（初出のみ）。

※旧字体は、常用漢字に直し、原文の字体を「」で示した（初出のみ）。

※適宜ふりがなを付した。

※読点などは原文のままとした。

（前略）

① れ【連】、<sup>(なんじ)</sup>汝に【尔】、筆の用<sup>(い)</sup>る方を、教<sup>(う)</sup>ふべし、筆の用<sup>(い)</sup>るかたを

② 知ら<sup>(さ)</sup>されば、字を習<sup>(う)</sup>ふこと能<sup>(あた)</sup>は【者】<sup>(し)</sup>ず【須】

③ 汝ハ、今日、学【學】校に行きたりや

④ ○学校に行き、終日学<sup>(ま)</sup>びて、先

⑤ 刻、帰【歸】り来れり○然<sup>(しか)</sup>らば、座に

⑥ 就きて、復読【讀】せよ、凡<sup>(すべ)</sup>て、学<sup>(ま)</sup>びた

⑦ る所をバ、常に、復読して、決し

⑧ て、忘るべか【可】らず

⑨ 第四

⑩ 岸の上に、二人の少年あ【阿】りて、三艘<sup>(そう)</sup>の船の、岸に着

⑪ くを、見居れり○三艘共に、帆<sup>(ほ)</sup>を十分に張りて、檣<sup>(ほばしら)</sup>

⑫ の上に、旗を、揚げたる、船な

⑬ り

⑭ 一人の少年云<sup>(い)</sup>ふ、我が朋友<sup>(ほう)</sup>

⑮ ハ、去年、先キの船に乗【乘】りて、外

⑯ 国【國】に、往きたりしが、日を数【數】

⑰ ふれば、其出立せし日より、

⑱ 今日まで、殆<sup>(ほとんど)</sup>一年に及びて、

⑲ 帰り来れり、

(後略)

⑳ 彼の両親は、日々、彼の帰る